

令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・第3学年では、すべての観点別正答率において、目標値を上回る結果となった。

(2) 課題

- ・家庭学習の定着と復習の徹底
- ・基礎的な知識・理解の定着
- ・思考・判断・表現力の育成

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値より0.8ポイント下回った。	/	/
第2学年	目標値を5.2ポイント下回る。	目標値を0.1ポイント下回る。 (第1学年次)	/
第3学年	目標値を1.3ポイント上回る。	目標値を1.1ポイント下回る。 (第2学年次)	目標値を2.4ポイント下回る。 (第1学年次)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値より0.8ポイント下回った。	目標値より4.3ポイント下回った。	目標値より1.4ポイント下回った。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を6.3ポイント下回った。	目標値を1.7ポイント下回った。	目標値を4.5ポイント下回った。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を0.4ポイント上回った。	目標値を3.6ポイント上回った。	目標値を6.9ポイント上回った。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での既習事項との関連をもたせたり、学習課題に応じた確認テストを行い知識の定着を図る。 ・学習課題に応じた資料や統計、グラフを活用し、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・協働学習を行うことで、個人の考えを共有し合い他者の考えも取り入れながら学びを深め、思考・判断・表現する力を向上させる。その際グループの考えをまとめたり、調べたことが効果的に他者に伝えられるよう、タブレットの活用による表現力を身に付ける。 	生徒の興味・関心を深める時事問題や社会生活に関わる事象から課題設定を行うことで、主体的に学習に取り組む態度を養う。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に応じた家庭学習課題を出した上で、確認テストを行い、知識の定着を図る。 ・学習課題に応じた資料や統計、地図を活用し読み取る力の向上を図る。 ・タブレットを活用し調べたことや個人の考えをまとめる力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習や調べ学習を適宜行い、個人の考えを共有したり、他者の考えを取り入れることで考えを深め、思考・判断・表現する力を向上させる。またその際、タブレットの活用を効果的に行う。 	生徒の興味・関心を深める時事問題や社会生活に関わる事象から課題設定を行い、授業で身に付けた知識や技能を活用し、現代社会の問題に主体的に関わる態度を養う。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・課題の提供に合わせて、確認テストを実施し、知識の定着を図る。資料や統計、グラフなどを活用し、タブレットを使って自らの考えをまとめることで、技能の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを活用して個人の考えをグループの内で共有し、考えをまとめさせることで思考・判断・表現する力を身につけさせる。 	社会生活と授業内容を結び付け、生徒に興味・関心をもたせ、主体的に学習に取り組めるようにしていく。